

講演会「天守を科学する」

ロマンからファクトへ

開催日：7月23日（日曜日）

開場：13時

開始：13時30分（終了予定16時）

会場：青葉城本丸会館 2階

定員：100名 ご予約制 参加費：500円

ご予約先：☎ 022-227-7077

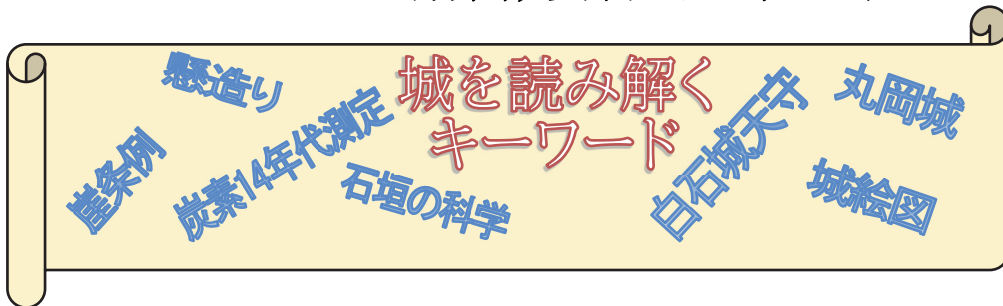
担当 青葉城資料展示館 大沢

講師

阿部和建築文化研究所
所長 中尾 七重 先生



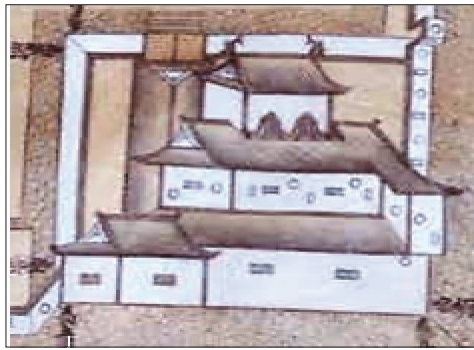
ご参加お待ちしております



白石城 城絵図
天守の姿は変化した



1644年 正保城絵図



1683年 白石城下 御絵図



明治期 白石城姿図

中尾七重プロフィール 日本建築史学研究者

山形大学理学部客員研究員、武蔵大学人文学部非常勤講師。1957年大阪府生、大阪大学人間科学部、社会学士。千葉大学大学院自然科学研究科居住空間学専攻、博士（工学）。

(株)日本SPセンターコピーライター、財団法人日本民家集落博物館学芸員、岩手県立大学短期大学部非常勤講師、(株)総合資格学院講師、武蔵大学総合研究所研究員を経て現在に至る。

函館市史編さん調査員、青森県史編さん調査員、国立歴史民俗博物館共同研究員、大分県日出藩御茶屋襟江亭保存調査委員を務める。

2004年に放射性炭素年代測定の古建築適用研究を始め、調査技法を開発し、古建築の建築年代・変遷年代を明らかにしてきた。建築年代が判明し重要文化財から国宝に昇格指定した鏝阿寺本堂など、文化財建造物の価値を高め、建築史研究や保存活用に貢献。

主な著書、学術論文

『合掌造りの謎を解くー14C年代法を古民家に適用したら、歴史の新しい見方が生れたー』中尾七重、国立歴史民俗博物館研究叢書8樹木・木材と年代研究 坂本稔・横山操編、朝倉書店、2021

『築何年？炭素で調べる古建築の年代研究』国立歴史民俗博物館・坂本稔・中尾七重編、吉川弘文館、2015

天守台石垣の天端保護について 中尾 七重、安井 妙子 日本建築学会東海支部研究報告集 (61) 2023年2月

変貌する天守 中尾 七重 『究』：ミネルヴァ通信 (138～143) 2022年9月～2023年2月

絵図に見る白石城大櫓の形状変化 中尾 七重 日本建築学会東北支部研究報告集、計画系 (85) 2022年6月

天守の地階と天守台 中尾 七重、安井 妙子 日本建築学会東北支部研究報告集、計画系 (84) 2021年6月編纂

主催：「政宗公ワールド」プロジェクト

共催：阿部和建築文化研究所

